

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

熱狂の《ボレロ》

同じリズムと旋律が繰り返され、
だんだんと高揚し、
興奮のクライマックスへ！

妥協を許さぬタクトで
音楽へ愛を込める
ドイツ在住の鬼才

指揮=上岡敏之
Conductor= TOSHIYUKI KAMIOKA

BOLÉRO

20歳のチェロの新星が
チャイコフスキーを弾く！

「驚くべき才能」と称賛！
ベルリンを拠点とし、
世界へ羽ばたく20歳の新星

チェロ=鳥羽咲音
Cello= SAKURA TOBA

チャイコフスキー：幻想序曲「ロミオとジュリエット」
TCHAIKOVSKY: Fantasy Overture "Romeo and Juliet"

チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品33
TCHAIKOVSKY: Variations on a Rococo Theme in A major, op. 33

フォーレ：付随音楽「ペレアスとメリザンド」組曲
FAURÉ: Suite "Pelléas et Mélisande"

ラヴェル：ボレロ
RAVEL: Boléro

読売日本交響楽団
第284回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 284

読売日本交響楽団
第284回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 284

2026年2月21日(土)
Saturday, 21 February 2026

2026年2月22日(日)
Sunday, 22 February 2026

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 <https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

鬼才・上岡敏之が「ボレロ」で熱狂へと誘う！

20歳の新星・鳥羽咲音がチャイコフスキーを弾く

鳥羽咲音 (チェロ)

SAKURA TOBA, Cello

類稀な音楽性を持つ新星チェリスト。2005年ウィーン生まれ。6歳から毛利伯郎に師事。国内外のコンクールで優勝・入賞し、注目を浴びる。2019年に日本フィルと共演以降、読響、N響、ウィーン室内管、東京フィル、京都市響、群馬響などと共演。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、東京・春・音楽祭などに出演。読響とは23年8月《三大協奏曲》で初共演し、「驚異の才能」と絶賛された。24年5月にエルガーの協奏曲でも好評を博した。服部真二音楽賞を受賞。江副記念リクルート財団奨学生及び公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。22年よりベルリン芸術大学でJ-P. マインツに師事している。使用楽器はアンネ・ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。



©Julia Wesely

2月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》には、ドイツを拠点としている鬼才・上岡敏之が登場します。ドイツの歌劇場で音楽総監督などの要職を歴任した上岡は、スコアから独自の発想と解釈で作曲家の意図を大胆に汲み取り、独創的な世界を表しています。2025年1月には、ショスタコーヴィチの交響曲第11番で凄まじい演奏を繰り広げ、会場を震撼させました。今回、チャイコフスキー、フォーレ、ラヴェルによる四つの名曲を振り、刺激に溢れた新しい世界を見せてくれることでしょう。

メインは、言わずと知れたラヴェルの代表作「ボレロ」。同じリズムとメロディを各楽器が繰り返し奏で、次第に高揚し、聴き手に不思議な恍惚感をもたらす、興奮を呼び起こします。上岡のタクトが、読響の腕利きの奏者たちから如何に音楽を引き出し、どのようなクライマックスへと誘うのか、どうぞご期待ください。

ラヴェルの前には、同じフランス音楽からフォーレの「ペレアスとメリザンド」組曲を披露します。メーテルリンクによる同名の戯曲に着想を得て、フォーレが劇付随音楽として書いたものの。上岡は、有名な「シシリエンヌ」の美しいメロディなどを鮮やかに響かせ、それぞれの場面を繊細に描き上げるでしょう。

演奏会の冒頭には、チャイコフスキーの幻想序曲「ロミオとジュリエット」を演奏します。シェイクスピアの戯曲を基に書かれたもので、二人の愛のメロディが甘美に奏でられる一方、モンタギュー家とキャピュレット家の激しい争いや、死が迫る不穏な状況がドラマティックに描かれています。オペラの指揮に長けた上岡は、血がたぎるようなエネルギーに満ちた音楽を生み、愛に溢れた旋律をたっぷりと歌わせるでしょう。

2曲目のチャイコフスキーの「ロココ風の主題による変奏曲」ではベルリン在住の20歳のチェリスト、鳥羽咲音が共演します。ウィーン生まれの鳥羽は、「驚くべき才能」と称賛され、国際的に注目を浴びる新星です。チャイコフスキーの哀愁たぐいしな旋律を朗々と奏で、類稀なる音楽性と完璧なテクニックで超絶技巧を披露し、会場を大いに沸かせるでしょう。

上岡敏之 (指揮)

TOSHIYUKI KAMIOKA, Conductor

ドイツを拠点に活躍し、音楽へ愛を注ぐ孤高の芸術家。東京芸大卒業後に渡独、ハンブルク音大で学び“劇場叩き上げ”指揮者としてキール市立劇場でキャリアを始めた。ヘッセン州立歌劇場音楽総監督、北西ドイツ・フィル首席指揮者、ザールラント州立歌劇場音楽総監督、ヴッパータール響首席指揮者、ヴッパータール市立歌劇場音楽総監督及びインテンダント、新日本フィル音楽監督、コペンハーゲン・フィル首席指揮者などの要職を務めた。ケルン放送響、バンベルク響、バイエルン放送響、シュトゥットガルト放送響などに客演。現在、ザールブリュッケン音楽大学指揮科正教授。読響とは1998年以降共演を重ね、多くの名演奏を残している。またピアニストとして《読響アンサンブル・シリーズ》にも度々登場。

©読響

読売日本交響楽団 第284回 土曜マチネーシリーズ

2026年 **2月21日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第284回 日曜マチネーシリーズ

2026年 **2月22日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【読響カード】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115 (予約受付: 平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296